

題材名『ウェルカム・ボードを作ろう』

(6 時間)

【題材について】※PR文「東野小学校に来られるお客様をかんげいする気持ちを表そう。」

- 板に釘をうったり、組み合わせたりしてつくる。
- お客さんを歓迎する気持ちを感じられるように工夫してつくる。
- 自分の思いを表現したり、心を和ませたりするものをつくり、創造することの楽しさを感じる。

- 〔めあて〕
- ◎ 安全に注意して金づちやのこぎりを使い、釘の打ち方や木切れのつなぎ方などを工夫する。
 - ◎ 見る人の気持ちを考えながらつくる。

本時の展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1. 金づちの扱い方、釘の打ち方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな大きさの釘を用意し、釘の違いが比較できるようにする。 ○安全に活動できる場所を確保する。 ○打ちたい場所に自由に釘を打てるように材料の固定の仕方を説明する。 ○つなぐ、重ねるなどのパターンを分けて説明する。
2. つくりたいものに合わせて、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方を工夫してつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○釘の打ち方を工夫することで、つくりたいものの表情や動きが変わることを知らせる。 ○イメージ図にとらわれず、打ちながらつくりたいものを考えても良いことを知らせる。 ○様々な釘の打ち方を試すようにする。 ○はさんだメッセージカードがよく見えるようにする。 ○つくったものが立つように、足を太くしたりバランスを考えたりする。 ○歌釘にモールやビーズなどの飾りをつけてもよいことを知らせる。

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・板に釘を打ったりのこぎりで木切れを切ったりする活動をたくさん経験させることで、板の厚さに適した釘の長さや打つ角度などがわかり、イメージにあったものが、つくれるようになると思う。
- ・立たせるために、足の太さ位置などに工夫が見られた。
- ・金づちやのこぎりの扱いに慣れるまでにはならなかった。